

八戸

# 東北大会でも結果残す 八学大女子サッカー一部 小林市長に県V報告



東北大会での健闘を誓う八戸学院大女子サッカー部のメンバーら

8月26、27日に十和田市で行われた県女子サッカー

選手権秋季大会を制した八戸学院大学女子サッカー部のメンバーが4日、八戸市庁を訪れ、小林眞市長に戦績を報告した。

同チームは創部4年目。選手権では準々決勝をナカスポ(八戸市)に12-0、準決勝を三沢高校に20-0で圧勝。決勝で3連覇を目指したSHRINE.L.F.C(弘前市)と対戦し延長戦の末、1-0で初優勝を果たした。

今月23、24日に八戸市で開催される東北大会に初出場し、全国大会に進める3位以内を目指す。

市庁には畑中孝太監督、中村雅俊コーチ、選手合わせて19人が訪問。一人一人が東北大会に向けた抱負を語った。

それに対し、小林市長は「創部当初から応援している。上を目指し頑張っている。上を目指し頑張っている」と激励した。

ともにゲームキャプテンを務める妻神和選手(3年)は「県大会の決勝は相

手のレベルが高く、自分たちのゲームができるまで時間がかかった。決定力不足の課題が見えた」と振り返り、成田愛選手(3年)は「(チームの課題として)大事な場面で決められないことが多いので練習から意識を変えて1位を目指す

臨みたい」ときっぱり語った。

續橋菜摘主将(4年)は「東北大会ではチャレンジャーとして悔いが残らないように一生懸命最後までやる」と決意を示していた。

(岩村史生)